

## 【産業観光部】

### 〔農業関係〕

平成21年度米生産目標数量は、昨年より361トン少ない1万7千6百49トンとなっており、転作率換算で1.36%の増となる、きわめて厳しい状況になっています。

水田経営所得安定対策、産地確立交付金のほか、自給率向上取り組み支援として「水田等有効活用促進交付金」が創設され、減反政策から食料自給率向上へ方向転換されます。これらの交付金を活用し、生産調整の目標達成に向け、関係農業団体と一体となり取り組みます。

流通対策については、アグリビジネスへの新規参入・業務拡張への取り組み支援のほか、どぶろく特区に係る製造への取り組みに対し支援を行い、農山村に伝わる食文化を新たな魅力として、都市との交流の活性化につなげていきます。

### 〔畜産関係〕

耕畜連携水田活用対策を活用しながら、粗飼料の確保と良質堆肥の生産に努め、家畜総合防疫事業等に力を入れ、より安全な畜産物生産に努め、生産基盤の確立を図るため家畜導入事業を引き続き行うとともに、大覚野牧場を活用しながら低コスト生産を推進します。

### 〔土地改良関係〕

地域ぐるみでの共同活動や、先進的な営農活動を支援する「農地・水・環境保全向上対策」に引き続き取り組みます。

中山間地域総合整備事業により桧木内地区の農道・用排水路等の整備については、平成21年度完了となります。

### 〔林業関係〕

森林林業活性化を図るため、「西木温泉ふれあいプラザクリオン」、「介護老人保健施設にしき園」に、熱・電気を供給する木質バイオマス施設建設事業を実施します。本事業は、新エネルギー推進の先駆的事业とし、森林林業活性化のモデル事業及び観光産業とのネットワーク事業として推進します。

森林整備に係る間伐・保育作業を容易にするため、高能率生産団地路網整備事業により、西木町坂本地区、中泊地区において作業道整備を実施します。

### 〔観光振興〕

「仙北市観光振興計画」で示した基本方針に沿って、積極的な誘客PR活動や効果的な観光情報の発信、新たな事業展開、既存事業の見直し等を行い、観光協会等の観光関係団体との連携を深め、仙北市一体となった魅力ある観光のまちづくりを進めます。

また、観光客の増加と滞在の促進を図るため、観光庁の観光圏整備事業を活用し、隣接自治体との観光圏によ

る施策の検討を行います。

### 〔雇用対策・商工業の振興〕

厳しい経済・雇用情勢をふまえ「仙北市緊急雇用等対策会議」を核とし、「緊急雇用対策室」を実働組織として状況の把握や対策を継続し強化します。

各地域センターに設置している相談窓口を、ハローワークや関連団体と協調し継続し、就職支援セミナーや面接会の実施、各団体との情報交換や市内企業の的確な情報の収集に努め、国の緊急雇用創出事業を活用し、失業者を対象に市の臨時職員の募集をはじめとし、公共工事の前倒しによる雇用の創出と地域経済の活性化対策を講じていきます。

経営支援策とし、仙北市商工会が推進する事業の支援に努めるとともに、中小企業振興資金融資制度等の効果的な活用を促すため、融資枠の拡大を図るための預託金の積み増しや返済期間の緩和を図ります。また、地域活性化・生活対策臨時交付金を活用し、公共工事の前倒し発注による雇用の創出と地域経済の活性化を図ります。

## 【建設部】

### 〔道路整備〕

市道整備については、総合計画に基づき進めておりますが、今後も地域からの要望を踏まえ、危険度や緊急性等を勘案しつつ、計画的に進めます。

国庫補助事業の地方道路整備臨時交付金事業として中央線道路改良工事、桧木六本杉線道路改良工事、観光線道路改良工事、東田線道路改良工事、田沢湖こ線橋耐震補強工事を実施します。また、市単独事業として豪雪対策、過疎対策、辺地対策及び臨時地方道路整備事業により市道改良工事を実施します。

### 〔桧木内川河川改修事業〕

上桧木内中泊地区から宮田地区の河川改修事業が平成21年度より工事着手となります。完了予定年度が平成24年度となっており、これにより豪雨による洪水、家屋への浸水、幹線道路の通行規制などの不安は軽減されるものと思われます。今後、早期完成を求め要望活動を続けます。

### 〔都市計画事業〕

「仙北市都市計画マスタープラン」の指針に基づき、都市計画街路整備事業等の実施に向け、調査検討を行います。

### 〔下水道事業〕

平成20年度に引き続き、田沢湖中生保内地区、角館町

西野川原地区の整備を進めながら、角館地区の事業認可区域の拡大を図り、整備を進めます。

水洗化資金支援制度の活用等をPRしながら、水洗化率の向上に努めます。また、特定環境保全公共下水道の白浜幹線管渠改築を地震対策事業により進めます。

### 〔集落排水事業〕

平成18年度から工事に着手している田沢地区については、平成21年度でマンホールポンプ等の整備を行い、平成22年度の供用開始に向けて整備を完了します。既存の集落排水についても、加入者の促進を図ります。

### 〔合併処理浄化槽事業〕

公共下水道、集落排水事業等の計画区域以外の汚水処理については、汚水処理施設整備交付金を活用し、浄化槽市町村設置型、浄化槽個人設置型整備事業を進めます。

## 【企業局】

### 〔水道事業〕

角館地区では、石綿セメント管更新事業、配水管新設事業、角館浄水場の急速ろ過機設備更新事業。田沢湖地区では、生保内浄水場の遠隔監視システム整備事業、石綿セメント管更新事業。西木地区では、下桧木内地区統合簡易水道整備事業で配水管改良工事を予定しています。また、田沢湖角館東前郷地区の一部を事業区域に組み入れるため、認可区域変更申請を予定しています。

### 〔温泉事業〕

温泉造成量減少の課題を解消するための取り組みとして、新たな源泉を探索する温泉掘削位置選定調査を実施予定です。

## 【市立病院】

### 〔市立病院等改革推進計画〕

市立病院等が果たす役割を明確にし、持続可能な地域医療体制を築き上げることを目的に「市立病院等改革推進計画」の策定を進めます。策定に当たり、市立病院等関係者や有識者で構成する「市立病院等改革推進計画策定委員会」による慎重な検討をするとともに、地域の実情や市民の意見、要望等に十分配慮し進めます。

計画策定後は、市民のご理解、ご協力のもと、目標の達成に向け取り組みます。

## 【教育委員会】

### 〔学校建設事業〕

神代小学校改築事業については、仮設校舎設置事業と教室棟解体事業等を終え、校舎改築事業を実施しており、本年12月の完成を目指しています。

また、耐震化事業として、生保内小学校体育館と神代中学校校舎及び体育館の耐震補強工事に着手し、市内の小・中学校の学校施設耐震化は全て終了します。

### 〔学校教育〕

平成21年度の新入学児童及び生徒の予定人数は、小学校197人(前年度比25人減)、中学校217人(前年度比56人減)です。

中学校における外国語指導助手(ALT)について、より安定的人材確保のため、本年1月から、角館地区のALTについては、民間業者を通じての派遣に切り替えており、他の地区についてもメリットや活動状況等を検証のうえ民間業者への移行を検討します。

本年度から、西木地区の小・中学校に事務センター制度を導入し、西明寺中学校を拠点校として、統括事務長、事務職員2名を集中配置し、他の3校には非常勤職員1名を配置し、事務効率化を図ります。

### 〔生涯学習〕

「地域の連携強化」、「ふるさと学習の推進」、「家庭教育の充実」を基本目標とし、公民館事業を中心に各種事業を推進します。

勤労青少年ホームと角館交流センターが本年度より、指定管理者制度により民間団体の管理となるため、適切な運営が行われるよう指導していきます。

### 〔伝建群・平福記念美術館〕

本年度、「全国伝統的建造物群保存地区協議会町並み保存技術研修会」と「平成21年度伝統的建造物群保護行政研修会(基礎コース)」の2つの研修会が本市において開催されるほか、7月に全国の20自治体が加盟している「第18回さくらサミットinせんぼく」が開催予定です。

また、平福記念美術館企画展として、10月～11月「小田野直武・佐竹義躬生誕260年記念企画展(仮称)」特別展を開催予定で、昨年度の男鹿和雄展で培った官民協働の広がりを活かし、民間団体との連携を図りながら、多くの人に親しまれる美術館運営に取り組みます。